

前期基本計画進捗状況評価シート

施策名	目標 (KPI)	総合戦略	当初値	目標値	実績値【R3】	実績値【R4】	実績値【R5】	令和5年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
【4】子どもの豊かな感性を育み、誰もが生きがいを持てるまち										
(1) 子ども・子育て支援の推進	ファミリー・サポート・センターまかせて会員登録数		17人	25人	15人	11人	16人	まかせて会員の増加を目的に養成講座を開催した。	まかせて会員の増加を目的に養成講座を開催する。	社会福祉課
	子育てアプリのユーザー登録者数		283人	400人	326人	338人	387人	子育てアプリを活用し、妊婦や子育て中の保護者に対して、子ども・子育てに関連する情報を提供した。また、窓口に子育てアプリのチラシを配架し、周知に努めた。	子育てアプリを活用し、妊婦や子育て中の保護者に対して、子ども・子育てに関連する情報を提供する。また、窓口に子育てアプリのチラシを配架し、登録者の増加に努める。	社会福祉課
	子育て支援訪問事業		25人	35人	13人	4人	8人	母子保健包括支援センターと連携し、出産や子育てに対して支援が必要な家庭への訪問等を実施し、必要な支援へ結びつけるなど子育てへの不安や負担の軽減に努めた。	母子保健包括支援センターと連携し、出産や子育てに対して支援が必要な家庭への訪問等を実施し、必要な支援へ結びつけるなど子育てへの不安や負担の軽減に努める。	社会福祉課
(2) 熱海らしい特色ある教育の推進	全国学力調査全国平均科目割合		小学校 50%	100%	0%	67%	0%	結果分析に基づく改善策を講じた結果、全国学力学習状況調査について、小学校は全国平均と同程度、中学校は3教科中1教科が全国平均を上回った。	全国学力検証委員会における改善等の方針について、定期的実施している定着度テスト等の結果を踏まえ、調査結果の分析に基づく改善策の検討を進める。	学校教育課
			中学校 100%	現状維持	—	—	33%			
	民間英語検定アセスメントテストにおいてCEFRのA1レベル相当以上を達成した割合		—	50%	62%	63%	69%	GTECにおいて、4技能の合計が昨年度を上回り (13.9ポイント上昇)、これまで課題となっていたスピーキングの力が特に大きく向上 (10.5ポイント上昇) した。	中学校2年、3年次における民間英語検定GTECを継続して実施する。	学校教育課
	地域総合学習等授業数		—	5コマ	5コマ	5コマ	5コマ	地域課題を認識し、子供たちが主体的に解決策を考えることを目的とした、Zoomで各校の代表者が発表する発表会を開催し、市内全校に広めた。	引き続き、地域に目を向けた学習を進めていく。	学校教育課
	新事業カリキュラムの実施教		—	5事業	4事業	5事業	5事業	「あたまを知る」体験活動として、初島や姫の沢公園、十国峠など市内各所で自然に触れたり、景色を見ることを通して身近な自然や地域に興味を持ち、保育者や友達と気づいたことや発見したことを共有するなど楽しみながら活動を行った。また、初めて会う他園の園児との会話や遊びを楽しみ交流することもできた。	「あたまを知る」体験活動については、その趣旨を踏まえ、既存の活動に捕らわれることなく、園児の興味関心を引き出す取り組みを園と連携しながら進めていく。	学校教育課
(3) 文化の振興	国・県・市指定、登録等文化財総数		205件	210件	206件	207件	207件	継続して文化財の調査を行ったが、指定・登録に至らなかった。	継続して市内の文化財を調査し、新規の指定、登録を増やしていく。	生涯学習課
	小中学生の参加する文化事業数		5件	8件	1件	2件	1件	R5.8.3「古代体験教室 勾玉 (まがたま) づくり」を開催。合計21名の参加があった。	子どもが参加しやすい事業を開催し、保護者等に対する周知をより図っていく。	生涯学習課
	国際交流事業への外国人参加数		40人	80人	19人	8人	33人	日本語教室33人 新型コロナウイルス感染症の影響が少なく、昨年までの小規模会場での開催ではなく、規模の大きい会場に戻し開催したことから参加者数が増えた。	外国人の興味を惹く行事等を開催し、日本語教室卒業生等への周知をより図っていく。	生涯学習課

施策名	目標 (KPI)	総合戦略	当初値	目標値	実績値【R3】	実績値【R4】	実績値【R5】	令和5年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
(4) 生涯学習の充実	市民教室受講者状況		65.49%	70.00%	84.44%	71.51%	81.74%	感染症の影響も弱まり、新たに開催したまち歩き教室は春・秋とも定員を超える申込みであり、広報あたまに連続掲載されたあたま歴史こぼれ話の筆者による解説など熱海に関連のある教室が好評であった。この他にも親子参加型や地魚の料理教室、終活ノートの活用など多様な題材を教室として実施し、学びの機会とした。	趣味や交流の場としてのほか、他部署とも連携し市民の安心安全や地域活動との繋がりとより参加意義の高い教室を目指す。デジタル機器の教室に関しては、基本操作以外にも市民生活の向上に向け、各種サービスの利用方法や情報セキュリティ等について実施を検討する。	生涯学習課
	人材バンク登録状況		のべ99人	のべ110人	のべ121人	のべ123人	のべ70人	5年度は人材バンク登録者の更新時期であり、継続意向のない方は登録を取り消したため数の減少となった。登録者のうち10名が新規登録であった。情報発信を行い、学校や地域活動の体験学習指導者として更なる活用があるよう努めている。	新規登録者を優先的に市民教室講師として登用することで、新たな人材発掘と市民教室内容の硬直化を防ぐ。人材バンクへの問合せが成果となっているか図りにくいいため、効果が把握できる仕組みとする。活用実績を向上させることにより、多様な分野での人材発掘を目指す。	生涯学習課
	図書貸出冊数		116,184冊	130,000冊	111,243冊	104,723冊	101,766冊	市内の認定保育園・幼稚園10園と子育てサロンと連携し、子どもの集まる場所に本を届ける「おとどけバック」を事業化できた。また、雑誌の読み放題など電子書籍コンテンツを見直し、電子図書館事業の拡充に努めた。	地域資料の保存と、利用者への多様な情報提供のため、郷土資料の収集・保存を関係部署と連携し行う。合わせて「調べる」を支援するツールとして、既存の「公開レファレンス検索」の活用促進と、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している「レファレンス共同データベース」への公開に努める。	図書館
(5) スポーツの推進	週に1回以上スポーツをしている人の割合		31%	50%	57%	59%	54%	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行し、ほぼすべてのスポーツイベントや教室において従来の規模で開催することができた。リズム体操教室、水泳教室、陸上教室などを開催し、生涯スポーツの普及・促進に努めた。	魅力ある教室・事業の開催を通じ参加者の増加を図り、生涯スポーツの普及・促進に努めていく。また、新たな取り組みとしてeスポーツを体験する機会を設け、特に高齢者の運動機会を創出する。	健康づくり課
	学校施設利用団体数		82団体	現状維持	64団体	67団体	74団体	施設開放を行い、市民の運動機会を創出した。学校体育館においては、高稼働率を維持している。また、第二小学校プールの適切な修繕等維持管理を実施した。	施設開放を行うとともに、適切な維持管理を行うことで利用者の増加を図り、市民の運動機会の創出に努めていく。	健康づくり課